

あなたの寄付が、ありのままをあたりまえにする力になります

例えば……

毎月**3,000**円の寄付で

就活生等4人にキャリアカウンセリングを提供できます。



毎月**5,000**円の寄付で

LGBTQの授業を125人の生徒に届けられます。



毎月**10,000**円の寄付で

教材を届け、12校を安全な学校環境にできます。



※1年間のご寄付を続けられた場合

個人として支援をする

🌸 マンスリーサポーター「にじいろバトン」で支援をする
月1000円から継続寄付で、ReBitの応援団になってください。

🌸 自由な金額で支援をする
100円から、1回でもご寄付ください。その一歩が社会を変える原動力に。

🌸 遺言による寄付・相続財団からの寄付
少額からのご寄付も可能です。まずはご相談ください。



クレジットカード決済でReBitホームページから簡単にお手続きできます。
<https://rebitlgbt.org/support/>

法人・団体として支援をする



ご寄付を通じて、LGBTQもありのままで未来を選択できるを応援ください。活動報告会や社員ボランティア機会を通じ、LGBTQに関する理解を深める機会を共につくらせていただくこともできます。
<https://rebitlgbt.org/support>

寄付額の最大約**50%**が戻ってきます

ReBitは、東京都の認定を受けた認定NPO法人です。ご支援いただくみなさまは、所得税、法人税、相続税などで税制上の優遇措置を受けることができます。

認定NPO法人ReBit（りびっと）

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-26-2 新宿カメヤビル4階

取引銀行：三井住友銀行 武蔵境支店 普通預金 0596883

理事（2023年度）：薬師 実芳（代表理事）/ 中島潤（事務局長）/
レイモンド・ウォング / 猿渡 由実子 / 中島 満香

監事：国見 健介

※資料の中のコメントは、一部仮名で記載したり、個人が特定されないように編集したりしています。

Mail: info@rebitlgbt.org

X: @Re__Bit

FB: <https://www.facebook.com/Re.Bit.LGBT>

HP: <https://rebitlgbt.org>



◆★✦✚●▲ ReBit

認定特定非営利活動法人ReBit

Annual Report 2024

2024年度 活動報告書



About ReBit

LGBTQもありのままで未来を選べる
社会をつくる、認定NPO法人



ステートメント

人はちがいでできている。

性格もちがえば、好きなものもちがうし、得意なこともちがう。

だれひとり同じ人なんていないはずなのに。

自分が自分であることで生きづらくなる人がいるのは、なんでなんだろう。

そんなあたりまえが変わったら、どんな社会になるんだろう。

LGBTQを取り巻く今から、考えてみたい。

LGBTQを含む、すべての人たちが、ありのままで未来を選べる社会を目指して。

ReBitは、少しずつを、何度でも、みなさんと一緒に進み続けます。

沿革

2009年12月	早稲田大学の学生団体として設立	2016年10月	RAINBOW CROSSING初開催
2010年6月	初の出張授業開催	2017年3月	教材Ally Teacher's Tool Kitリリース
2012年1月	LGBTQ成人式初開催	2018年7月	認定NPO法人に
2013年8月	LGBTQ就活生向け支援イベント初開催	2021年12月	就労移行支援事業所ダイバーシティキャリアセンターを東京に開所
2014年3月	NPO法人に	2023年12月	就労移行支援事業所ダイバーシティキャリア大阪を開所
2014年4月	企業・就労支援者向け研修開始		



ご挨拶

★ おかげさまで、ReBitは設立15周年を迎えることができました

これまで支えてくださったすべての皆さまに、心より御礼申し上げます。

私は、幼い頃から性別への違和感を抱えながらも誰にも相談できず、17歳のときに自殺未遂を経験しました。だからこそ、「あなたのままで大人になれる社会をつくりたい」と願い、20歳、大学2年生の時にReBitを立ち上げました。

あれから15年。かつては「うちの学校にLGBTQの子どもなんていない」と100校に連続で授業を断られた時代から、2024年度にはすべての小学校の保健体育の教科書に「多様な性」が掲載されるようになり、夢だった未来が少しずつ現実になっています。これは、共に歩んでくださった皆さまのおかげです。

この15年間で、ReBitの事業も広がりました。「学びを届ける教育事業」、「働くを応援するキャリア事業」、そして「暮らしを支える福祉事業・まちづくり事業」へと活動の幅が広がり、より多くの人に届くようになりました。

次の15年も、LGBTQの子ども・若者に限らず、誰もが「ありのまま」で未来を選べる社会の実現を目指します。これからも、ひとつひとつを丁寧に、何度でも繰り返しながら、私たちは歩みを進めていきます。



ReBit 代表理事（社会福祉士・精神保健福祉士・キャリアコンサルティング技能士2級）

薬師 実芳

プロフィール：LGBTQもありのままで未来を選べる社会を目指し、2009年にReBitを設立。ダボス会議が選ぶ「世界の若手リーダー」に選出。早稲田大学大学院教育学研究科修了（修士）。

◆ これからも、多様な皆さまと協働し続けます

「ReBitが、社会を変える」のではなく、「皆さまと共に、社会を創る」ことで、可能性が大きく広がることを実感しています。年1回のReBitの出張授業だけではなく、各教室の日常が、多様性が尊重された環境になること。全国どの地域でも、自分のままで安心して暮らせると思えること。その変化のためには、多様な人が強みを持ち寄ることと、安定した事業運営を支える組織基盤が欠かせません。

チームとして力が発揮できる土台を整えながら、寄附者をはじめとしたReBitを応援して下さる皆さま、学校現場の先生方、企業の担当者さま、行政・連携団体の方々と共に、変革に向けて協働し続けます。



事務局長（キャリアコンサルタント）

中島 潤

プロフィール：大学で多様な性やマイノリティ課題を学び、発信活動を開始。ReBitに一度参画した後、企業へ就職。営業・管理職を経て大学院で社会学を専攻。現在は教材監修や研修、就労支援に従事。

◆ ReBitの事業

LGBTQもありのままで「学び・働き・暮らせる」社会づくりのため、以下4事業に取り組んでいます。

01

学びを広げる 教育事業

LGBTQもありのままで大人になれる社会に向けて、学校での授業実施や教材制作、教職員養成や学校の実践伴走、LGBTQユースのリーダーシップ育成を行います。

02

働くを応援する キャリア事業

LGBTQも自分らしく働ける社会に向けて、キャリア支援や、企業研修・コンサルテーション、キャリア支援者の養成を行います。

03

暮らしを支える 福祉事業

LGBTQも安全安心に福祉資源を利用できる社会に向けて、精神障害や発達障害があるLGBTQも安心して利用できる障害福祉サービス(就労移行・生活訓練)の運営や、福祉職養成や教材制作を行います。

04

暮らしを支える まちづくり事業

どのまちでも、LGBTQも安全に暮らせる社会に向けて、自治体のLGBTQの取り組み伴走や、地域のLGBTQ団体の中間支援を行います。



★ 2024年度ReBitハイライト

◆ おかげさまで、設立 15 周年！ リブランディングで新 ReBit に

子どもも大人も、その先も、自分らしくあってほしいと願い、新しいビジョンを「LGBTQもありのままで未来を選べる社会を創る」に。団体ロゴと公式サイトもリニューアルしました。

✦ 全小学校教科書に多様な性が掲載！ 授業 / 研修を 2.4 万人に

2024年度は、全小学校教科書に多様な性が掲載される歴史的な年。200回の授業/研修を学校・行政・企業等で実施しました。

✚ LGBTQ も安心な学校を全国に！200人の 先生と制作した、教材キット無料公開

LGBT理解増進法で、学校のLGBTQの取り組みが努力義務に。先生が学び、学校環境や相談体制を整えるための新たな資材キット「Ally Teacher's Tool Kit: 安心な学校をつくろう編」を作成。

✧ 精神障害や困窮等、複合的な困難がある LGBTQ 約 6000 人にキャリア支援

就労時の困難等から、LGBTQの4割がうつ等の精神障害を、5割が生活困窮を経験します。複合的な困難があるLGBTQへのキャリア支援をしました。

✪ 国内最大級のダイバーシティに関する キャリアフォーラムを開催

9年目となる、DIVERSITY CAREER FORUMをオンライン配信と早稲田大学でハイブリッド開催！厚労省・文科省の後援のもと企業30社がご出展され、20万回を超え多くのご視聴をいただきました。

● 厚労省主催研修等、福祉従事者へ啓発

LGBTQフレンドリーな就労移行支援事業所(障害福祉サービス)開所4年目を迎え、東京・大阪で障害があるLGBTQの支援に注力。また、厚労省主催の支援者研修やハンドブックへ事例提供を行いました。

★ 約 200 の自治体に伴走。 LGBTQ も安心して暮らせるまちづくりへ

LGBTQ施策を推進する自治体担当さまへの伴走を実施。勉強会にはのべ110自治体に参加。また、40自治体の事例集「自治体LGBTQ/SOGIEできることハンドブック」は全国の自治体で約2000部を活用頂きました。



★ 学びを広げる 教育事業

- LGBTQもありのままで大人になれる社会に
学校での授業や教材づくりを通じて理解を促進し、
教職員が安全で包摂的な学校環境をつくる支援を行います。

LGBTQは学校でいじめ等の困難に直面し、不登校や自死念慮における高リスクです。教職員の学ぶ機会が不足し、包摂的な学校環境の整備が十分にできていません。

先生が授業中に騒いでいた男子2人に「お前らイチャイチャすんな、ホモか!」と注意して、クラス中がどっと笑った。バレないように一緒に笑ったけど、自分のことを笑っているようで辛かった。(ゲイ)

中学のとき、いじめられていた。「男みたいできもい」「本当に女なの?」と制服を脱がされたり、上履きをトイレに入れられたりした。(トランスジェンダー男性)

いじめや暴力を
経験したLGBTQ^{*1}

68%

この1年に自殺念慮を
経験した10代LGBTQ^{*2}

54%

LGBTQについて教員養成課程
で学んだ教員^{*3}

13%

^{*1} いのちリスペクト。ホワイトリボン・キャンペーン (2014) 平成25年度東京都地域自殺対策緊急強化補助事業「LGBTの学校生活に関する実態調査(2013)」

^{*2} 認定NPO法人ReBit (2025) 「LGBTQ子ども・若者調査2025」 ^{*3} 認定NPO法人ReBit (2023) 「学校における性的指向・性自認に係る取り組み及び対応状況調査」

★ ReBitの取り組み

1. 授業・研修

多様な性を通じて多様性を学ぶ体感型の授業や研修を、全国の学校や教育委員会で展開しています。



2. 調査・教材制作

学校教科書や書籍の監修・出版に取り組むとともに、LGBTQの子どもと学校に関する国内最大級の調査も実施しています。



3. 学校環境を変える

LGBTQも安心して過ごせる学校づくりのため、教職員向けに勉強会や個別相談を実施しています。また、先生方がすぐに使える教材キット「Ally Teacher's Tool Kit」の開発や、情報サイトの運営を通じて、学校現場をサポートしています。



学校 / 行政へ授業
/ 研修を提供した
回数・人数

1531 回
22.3 万人



教材の発行部数、
再生回数

5.7 万部
22.7 万回

🔊 教材を使った 佐々木先生

クラスの中で、いわゆる「オカマネタ」がでたことをきっかけに、多様な性についての授業をしようと考えはじめました。どのような授業をしていいかわからず検索していたところ、Ally Teacher's Tool Kitを見つけました。学習指導案や映像動画、配布プリントまで揃っていて、安心して授業ができました。



🔊 授業を受けた ひかるさん

小学生のときからずっと性別に違和感があることを誰にも言えず、「自分っておかしいのかな」とずっと悩んでいました。高校の時にReBitが学校に来て、授業をしてくれてことをきっかけに、「自分のままでいいんだ」と思えました。





働くを応援する



キャリア事業

- LGBTQも自分らしく働ける社会に

LGBTQのキャリア支援と、企業への研修やコンサルテーションを通じた安全な職場環境づくりに取り組みます。

LGBTQは就職活動や就労時に困難やハラスメントに直面することが多いです。しかし、支援者の無理解等から、安心して相談支援を受けられません。

同僚に同性パートナーがいることを伝えたら職場でアウティング（暴露）され、上司から嫌がらせを受けるように。職場のハラスメント窓口でも対応してもらえず、うつになって、退職した。（レズビアン）

就活面接でカミングアウトしたら「帰れ」と言われた。帰りの電車でただただ泣いた。（トランスジェンダー）

就活時にSOGIに由来した困難を経験したトランスジェンダー^{*4}

78%

LGBTQへ支援を適切にできなかった支援者^{*5}

89%

就労支援機関に相談できなかったLGBTQ^{*4}

96%

^{*4} 認定NPO法人ReBit (2025) 「LGBTQ子ども若者調査2025」
^{*5} 認定NPO法人ReBit (2023) 支援者のLGBTQ意識調査



ReBitの取り組み

1. 自分らしく働く支援

LGBTQを含む多様な背景を持つ人々が、自分らしいキャリアを築けるよう、キャリア支援を提供しています。

また、国内最大級のダイバーシティと就労に関するキャリアフォーラムの運営にも取り組んでいます。



2. 職場を変える・つなぐ

企業向け研修や人事制度設計などのコンサルティングを通じ、職場でのLGBTQやダイバーシティを尊重する環境づくりを支援しています。



3. 就労支援者の養成

厚生労働省大臣指定の国家資格キャリアコンサルタント更新講習や教材制作を通じ、LGBTQも支援できる就労支援者の育成に取り組んでいます。



企業 / 就労支援者
研修回数・人数

580回
8.7万人



キャリア支援を
した人数

2万人



キャリアイベント
参加人数（オンライン再生含む）

140万人

🔊 キャリア相談をした あおいさん

他のキャリア相談では、いかに根底にある自分の経験をごまかすか考えながら話していました。この相談では、セクシュアリティに関する自分の経験もごまかすことなくお話できたので、自分の考えを整理できました。今後、困ったことがあってもここに相談できるという安心感を手に入れられてよかったです。



🔊 企業研修を受けた 人事の田中さん

言葉としては知っているつもりでも、実情を全くわかっていなかったことを感じました。整理された理論とLGBTQの社会人の個々の声のバランスが良く、良い機会でした。職場でアライが増えるよう、これからも取り組んでいきたい。



暮らしを支える

福祉事業

- LGBTQも安全に福祉サービスを利用できる社会に

精神障害や生活困窮など複合的な困難があるLGBTQを支援するため、日本初のLGBTQフレンドリーな就労移行支援事業所（障害福祉サービス）の運営や福祉職の育成を行います。

LGBTQは、社会的な無理解等から、精神障害や困窮に直面しやすいです。しかし、福祉利用でも困難やハラスメントが多く、安全網であるはずの福祉を安全に利用できていません。

職場でセクシュアリティをアウティング（暴露）され、精神障害になり退職した際、障害福祉サービスを利用した。退職の経緯とともにセクシュアリティを伝えたら、勝手に他の支援者に伝えられ、不信感により病状が悪化し、利用ができなくなった。（ゲイ）

生活保護開始時、行政職員や福祉サービスの担当者もあまりに知識や理解がなく、必死で治療の必要性を伝えても、誰一人として理解してくれず、失望し自殺未遂をした。（トランスジェンダー）

LGBTQの精神障害経験
（過去10年）^{*5}

41%

LGBTQの生活困窮経験
（過去10年）^{*5}

46%

LGBTQの行政・福祉サービス
での困難経験^{*5}

78%

^{*5} 認定NPO法人ReBit（2023）「LGBTQ医療福祉調査2023」

ReBitの取り組み

1. 現状を明らかにする

LGBTQの医療・福祉の現状調査や福祉職の意識調査など、LGBTQと福祉に関する多岐にわたる調査を実施しています。



2. 福祉機関の支援と伴走

福祉サービスがLGBTQも安心して利用できるものとなるよう、支援者の養成を目的とした研修や、福祉機関向けのeラーニング等の資料を作成しています。



3. 安心できる福祉の運営

日本初のLGBTQフレンドリーな就労移行支援事業所（福祉サービス）「ダイバーシティキャリア」を東京都と大阪府で運営。精神障害など複合的な困難があるLGBTQも、自分らしく働き暮らせる社会を目指し、福祉に取り組んでいます。



ダイバーシティキャリア

ReBitが運営する、障害がある方や定期的に通院している方の就職活動や復職を支援する福祉サービスです（就労移行支援：東京・大阪／生活訓練：大阪）。

福祉職や心理職による多様性に寄り添った個別支援に加え、就労に役立つ多彩なスキル講座や、ダイバーシティ推進企業との豊富な連携実績が特長です。



就労移行の利用者 はるさん

初めて、障害もセクシュアリティも安心して相談ができました。初めて呼ばれた名前と呼ばれ、初めて着たい服を着られました。スタッフや講座を通じてたくさんのロールモデルと出会えて、自分のままで生きて働いていいんだって思えました。



相談者 あきさん

精神障害があるというだけでも地元では生きづらいのに、トランスジェンダーだなんて言ったらもう生きていけない。でも、精神障害で働けずお金もないので、東京に引っ越すことはできない。地元で相談できる場所もなく、自殺未遂を繰り返していましたが、この相談を知り、つながれて安心しました。



暮らしを支える まちづくり事業

- どの地域でも、LGBTQも安全に暮らせる社会に
行政のLGBTQの取り組みに関する白書制作や、施策推進の伴走支援を行っています。
また、各地でLGBTQ分野に取り組む団体への中間支援組織として、リーダーシップを応援します。

2023年にLGBT理解増進法が制定され、自治体のLGBTQの取り組みが努力義務と定められました。
自治体の取り組みの機運が高まる今、自治体の好事例共有や担当者伴走、地域団体への中間支援と行政連携の推進等を行います。

災害時、同性パートナーと仮設住宅への入居が認められず、一緒に暮らせませんでした。また別の機会には、パートナーの手術の際、地域の拠点病院で家族として扱ってもらえず、付き添うことすらできなかった。この地域で同性パートナーと家族として暮らすことは、あまりにも難しい。(レズビアン)

「男はこうあるべき」という認識が強い地域で、自身がトランスジェンダー女性であることを誰にも伝えられずずっと生活している。地域のなかでLGBTQの人たちが集うような居場所もなくして孤独感が強い。(トランスジェンダー)

ReBitの取り組み

1. 自治体との連携

ReBitは行政のパートナーとして、自治体の好事例の白書化や、多様性を尊重する施策の立案・実行における専門的なアドバイスと伴走支援を行っています。



2. 職員の啓発と伴走

自治体職員向けの研修や資料提供を通じ、庁内での理解を深める啓発活動を促進。また、全国のLGBTQ・ダイバーシティ推進担当者向けの定期勉強会で、好事例の共有を推進します。



3. 地域リーダー・団体支援

地域に根差したLGBTQの取り組みを強化するため、若手リーダー育成プログラム「diverseeds」を展開。また、各地のLGBTQ関連団体へ伴走支援や資源提供を行い、活動を応援しています。



連携した自治体
280自治体



育成した若手リーダー
19地域
55人

行政担当者 鈴木さん

LGBTQの知識もなく何から始めたらいいか迷っていました。ReBitの自治体職員向けの勉強会で他自治体の取り組みを聞き大変参考になりました。自分たちにもできることから始めたいと思い、住民向けのLGBTQ講演会を実施しました。これからも住民の皆様にとってより良い地域づくりを行いたいです。



リーダープログラム参加者 めいさん

自分の地域でLGBTQに関わる活動をしたのは自分だけだと思っていた、孤独でした。でも、diverseedsに参加したことで、同じ思いを持つ同世代の仲間や、応援してくれる大人たちとたくさん出会うことができました。そのつながりが大きな支えとなり、地域でLGBTQに関するイベントを立ち上げることができました。



▲ 協働でできること

✦ 企業のみなさまとできること

500社以上のダイバーシティ推進を支援してきた実績と、LGBTQ・ジェンダー平等・障害の3領域における専門性を活かし、貴社の取り組みをサポートします。

1. 研修や人事制度構築を通じて、 安心できる職場づくりを応援します

LGBTQ講師による社内研修やeラーニングの制作、また、同性パートナーがいる社員やトランスジェンダー社員を包摂した人事制度づくりに向けたアドバイジングやガイドラインの策定支援など、これまで500社以上の企業とともに、LGBTQ施策の実施・強化に取り組んできました。



2. 相談窓口の立ち上げや運営を サポートします

これまでに2万人のLGBTQからの相談支援を行ってきた実績を活かし、社員さま向け・お客さま向けのLGBTQ相談窓口の立ち上げをサポートします。また、運営ガイドラインの策定や、実際に相談が寄せられた際の助言・対応支援などを通じて、安心して利用できる相談体制づくりをお手伝いします。



✦ 学校・教育関係者のみなさまとできること

教育現場でのLGBTQへの理解促進と環境づくりを支援しています。授業づくりから相談体制の整備まで、先生方とともに取り組みを進めます。

1. 教えることをサポートします

LGBTQ講師による授業の実施（のべ1500回）や、先生が授業でLGBTQについて教える際の無料教材の提供（のべ5万部）を通じて、多様な性やLGBTQについて「教えること」を応援します。



2. 学校環境・相談体制づくりを 支援します

LGBTQも安心して過ごせる学校環境を実現するために、無料の資材キットや教職員向けオンライン勉強会の実施、相談対応に悩む先生や学校への個別相談や伴走支援など、現場に寄り添いながら包括的な支援を提供しています。



■ 行政のみなさまとできること

LGBTQやダイバーシティ推進に関する施策策定や実行といった実践的な伴走支援を、280以上の自治体で行ってきました。

1. 施策担当者の支援の実施

施策をご担当される職員さま向けの無料勉強会や、自治体向けの無料相談を実施。日々の業務の中で生まれる疑問や課題に寄り添い、地域の実情に即したかたちで、継続的な支援を提供しています。



2. 庁内外の理解促進と具体的な 取り組み支援

職員向けの研修実施や、市民向けイベントの企画・運営支援、啓発資材の監修などを通じて、自治体全体としてLGBTQやダイバーシティ施策推進の具体的な取り組みをサポートしています。



✦ 支援者のみなさまとできること

ReBitは、日本初となるLGBTQフレンドリーな就労移行支援事業所（障害福祉サービス）を東京・大阪で運営しています。LGBTQと福祉の双方の専門性を活かし、支援者の方々とともに、誰もが安心して支援を受けられる社会の実現を目指しています。

1. 支援者・福祉事業者向け研修や 無料資材の提供

支援職や福祉事業者の方々向けに、LGBTQへの支援に関する無料eラーニングや資材を提供。日々の支援にすぐに活かせる内容となっています。



2. LGBTQへの直接支援

これまで、障害や生活困窮等の複合的困難を抱えるLGBTQを中心に、のべ2万人への支援を届けてきました。ご本人からのご相談はもちろん、支援者の方からのご相談も無料でお受けしています。リファー先や連携先としていつでもお気軽にご相談ください。

ReBitとの協働事例など
詳細はこちら▼



2025年度の注力ポイント

01

「中間支援組織」として、地域リーダーを応援

ReBitは認定NPO法人ETIC.と連携し、休眠預金を活用した「地域におけるLGBTQ支援・啓発の担い手団体の育成事業」にて、地域団体へ資金的支援や経営伴走を提供します。地域リーダーたちの支援を行う「中間支援組織」としてとしての役割を果たせるよう、私たちも学びながら、全力で取り組んでまいります。

02

UNESCOとともに、LGBTQユースリーダーを応援する基盤を日本に

UNESCOと協働し、LGBTQ分野に取り組むユースリーダーの育成を日本で始動。アジア各国で展開されてきたLGBTQ分野の次世代リーダー育成プログラムの知見を生かし、日本版プログラムの開発・実施します。官民産学で活躍する先輩のロールモデルと連携し、若い世代がつながり、学び合い、行動へと踏み出せる「応援の仕組み」を、日本に根づかせられるよう、取り組みます。

03

LGBTQ施策に取り組む自治体ネットワークを拡充

昨年度は、全国110の自治体のLGBTQ施策担当者を対象にオンライン勉強会を開催し、理解促進とネットワーク形成を進めてきました。2025年度は、自治体職員とLGBTQ団体等が直接集うシンポジウムを開催し、先進的な取り組みを共有するとともに、地域における官民連携のさらなる加速を目指します。

04

仲間と未来をつくる、ファンドレイジングの強化

ReBitの活動は、寄付という「応援のかたち」に支えられています。LGBTQも地域で安心して暮らし、学び、働くことのできる社会を実現するためには、継続的な支援の土台が不可欠です。2025年度は、これまでの寄付者の皆さまとのつながりを大切にしながら、新たに寄付に参加してくださる仲間を広げていくチャレンジの年と位置づけています。特に、毎月継続して応援いただく「にじいろバトン」の仲間を増やすキャンペーンを本格展開します。



copyright © 2025 ReBit All rights reserved.



ReBitが携わる書籍・教材

- ◎ 全国の書店でご購入いただけます
- storesにてご購入いただけます <https://rebitlgbtsupporters.stores.jp>
- ホームページより無料でダウンロードいただけます <https://rebitlgbt.org/materials/>

児童・生徒向け

書籍

「ふつう」ってなんだ？
:LGBT について知る本
薬師実芳ほか（2018）
学研プラス◎



書籍

みんなで知りたい
LGBTQ+（全5巻）

電通ダイバーシティ・ラボ（2022）
文研出版



教職員・保護者向け

書籍

改訂新版 LGBT ってなんだろ
う?: 自認する性・からだの性・
好きになる性・表現する性
薬師実芳ほか（2019）
合同出版◎



書籍

教育と LGBTI をつなぐ：
学校・大学の現場から
考える
三成美保ほか（2017）
青弓社◎



人事・就労支援者向け

書籍

LGBTI の雇用と労働：
当事者の困難と
その解決方法を考える
三成美保ほか（2019）
晃洋書房◎



書籍

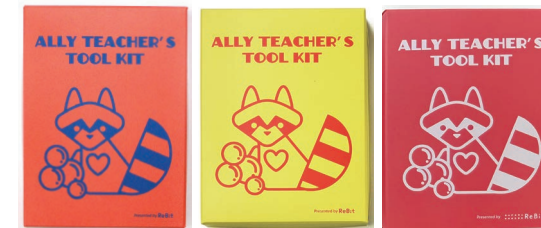
トランスジェンダーと職場環境
ハンドブック：だれもが働きや
すい職場づくり
東優子ほか（2018）
日本能率協会マネジメントセンター◎



独自資料

教材キット

Ally Teacher's Tool Kit シリーズ
LGBTQ にとっても安全な学校づくりを推進する、教職員向けの3種類の資料キット。先生がLGBTQについて学び、安全な学校環境や相談体制を整えるための「安心な学校をつくろう編」と、小学校高学年・中学校でLGBTQに関する授業を実施する「授業しよう編」があります。ReBit ○●



冊子

キャリア支援者のための
LGBTQ ハンドブック
キャリア支援者や企業人事等に向けた、LGBTQ へのキャリア支援のための資料。ReBit（2021）●



冊子

LGBTQ も安心して利用
できる福祉サービスのため
にできることハンドブック
ReBit（2024）●



冊子

自治体 LGBTQ/SOGIE
できることハンドブック
40の省庁・自治体の好事例をまとめた、住みやすいまちづくりのための白書。ReBit（2024）●



調査報告

ReBit は、LGBTQ の学ぶ・働く・暮らすの実態を知る調査を多数実施しています。
詳細はこちら
<https://rebitlgbt.org/materials/>



支えてくださった企業/団体のみなさま



財務諸表及び計画

2024年度、ReBitの経常収益は17,594万円、前年度比1,027万円（6%）の増加となりました。増加の理由として、昨年に引き続き、教育現場での啓発やLGBTQへのキャリア支援に関する助成金等の採択をいただき、多くのご支援を得られたことが挙げられます。

スタッフの増員のに伴い経常費用は14,082万円、前年度比2,365万円（20%）の増加となり、今期の当期経常増加額は3,511万円となりました。来期以降に繰り越し、「LGBTQも自分らしく学ぶ・働く・暮らす」を実現するための事業推進や基盤強化に充当していきます。

2025年度予算は、経常収益21,534万円、経常費用23,694万円、当期経常減少額2,160万円です。収益・費用共に2024年度より増加となる見込みです。2025年度は「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（平成 28 年法律第 101 号）」に基づき、一般財団法人日本民間公益活動連携機構より資金分配団体に採択されました。LGBTQ分野に取り組む全国のリーダーたちに資金的・非資金的な伴走を行う「中間支援組織」としての役割を担うにあたり、助成金も費用も共に増加する見込みとなっています。みなさまと共に新たな価値を共創できるよう邁進します。引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

活動計算書（2024年4月1日～2025年3月31日）

単位:円

科目		2023年度	2024年度	前年度比増減 (23-24年度)	2025年度 (予算)	前年度比増減 (24-25年度)	
経常収益	受取会費	110,000	145,000	35,000	110,000	-35,000	
	受取寄附金	30,426,335	24,794,074	-5,632,261	38,737,575	13,943,501	
	受取助成金等	62,969,055	76,014,759	13,045,704	91,965,822	15,951,063	
	事業収益	72,161,485	74,863,715	2,702,230	84,487,046	9,623,331	
	その他収益	1,653	124,625	122,972	40,000	-84,625	
	経常収益 計	165,668,528	175,942,173	10,273,645	215,340,443	39,398,270	
経常費用	事業費	人件費	64,105,826	77,236,204	13,130,378	110,653,166	33,416,962
		その他経費	49,914,873	56,130,581	6,215,708	121,515,512	65,384,931
		事業費 計	114,020,699	133,366,785	19,346,086	232,168,678	98,801,893
	管理費	人件費	440,423	2,477,229	2,036,806	271,200	-2,206,029
		その他経費	2,708,880	4,983,964	2,275,084	4,504,795	-479,169
		管理費 計	3,149,303	7,461,193	4,311,890	4,775,995	-2,685,198
	経常費用 計	117,170,002	140,827,978	23,657,976	236,944,673	96,116,695	
	当期経常増減額	48,498,526	35,114,195	-13,384,331	-21,604,230	-56,718,425	
経常外収益	0	0	-	0	-		
経常外費用	0	1	-	0	-		
当期正味財産増減額(税引後)	46,680,226	34,304,194	-	-21,604,230	-		
前期繰越正味財産額	180,449,863	227,130,089	-	261,434,283	-		
次期繰越正味財産額	227,130,089	261,434,283	-	239,830,053	-		

※ 次期繰越正味財産額のうち、一部を「LGBTQキャリア支援積立特定資産」として計上しています。

貸借対照表（2025年3月31日現在）

単位:円

科目		金額
資産の部	現金・預金	225,608,126
	売上債権	18,301,606
	棚卸資産	22,930
	その他流動資産	90,921,698
	流動資産 計	334,854,360
	有形固定資産	5,470,617
	投資その他の資産	6,486,040
	固定資産 計	11,956,657
資産の部 合計		346,811,017
負債の部	未払金	14,834,878
	未払法人税等	810,100
	未払消費税等	971,700
	前受助成金	67,032,765
	前受金	550,000
	預り金	1,177,291
	流動負債 計	85,376,734
	負債の部 合計	85,376,734
正味財産の部	前期繰越正味財産額	227,130,089
	当期正味財産増減額	34,304,194
	正味財産の部 合計	261,434,283
負債及び正味財産の部 合計		346,811,017

※次期繰越正味財産額のうち、一部を「LGBTQキャリア支援積立特定資産」として計上しています。

